autocult

データシート

Reeves Octoauto (米国 , 1911)

始まり

scale 1:43

#01015

release

11/2021

limitededition 333 pcs.

4車軸、8車輪 – 大失敗

20世紀初頭のアメリカの道路状況は酷いものだったので、ミルトン・オセロ・リーブスは心地よいソフトな乗り心地をドライバーに提供したいと考えた。

1910年、彼はアメリカのメーカであるオーバーランドから高級なセダンを購入し、運転の快適さを向上させるというアイデアを実行に移した。彼は車軸の数を2倍にした。彼は後部と前部の両方に車軸を取り付けたため、高級セダンの長さは８メートルまで伸ばされた。残りの部分はほぼ標準のままだった。ミルトン・オセロ・リーブスはダブル車軸構造によって道路の凹凸をより快適に緩和できると考えた。このようにリーブスは、1867年に、鉄道の寝台車を発明したジョージ・プルマンと同じ考え、つまり負荷を分散し、車輪の数を2倍にすることで振動を減らすという考えを自動車産業にも取り入れたのだった。

過度に長い車両を操縦できるようにするため、ミルトン・O・リーブスは2つの前車軸と1つの後車軸をステアリング可能に設計した。前の車軸には最大の操舵角、2番目の車軸はそれよりわずかに小さい操舵角、そして後車軸は前車軸とは反対方向に操舵した。したがってその車は事実上、それ自体の内側軸中心に回転した。実際にシステムは機能したようで3000マイルのプロモーションツアーもこなすことができた。マスコミは快適さの面でこの珍しい乗用車に非常に感銘をうけた。ホイールの数に基づいて、リーブスは「OctoAuto」という名前でその車を売り出した。

しかし結局、リーブスは一台も販売することはなかった、3,200USドルという高すぎる購入価格のせいだった。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de